

学科名	電気通信工学科						
科目名	初等電磁気学						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年後期		
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース) / 必修科目(電気エネルギーコース) / 必修科目(情報システムコース)						
担当者	江上 典文						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベクトルの大きさ、向きがわかる。(A2)</li> <li>ベクトルの内積がわかる。(A2)</li> <li>単純な荷電粒子分布を与えたときの電界がわかる。(A2)</li> <li>単純で対称性の高い電荷分布を与えたときの電界がわかる。(A2)</li> <li>電界と電位の関係がわかる。(A2,A7)</li> </ul>						
日程と内容	9/17 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法、力 9/24 仕事・エネルギー 10/8 微分の基礎 10/15 微分、積分の基礎 10/22 積分 10/29 ベクトルの演算と成分 11/11 ベクトルの内積 11/12 ベクトルの外積 11/19 電荷、クーロンの法則 11/26 電界 12/3 電界の重ね合わせ 12/10 電気力線とガウスの法則 12/17 ガウスの法則の応用 1/14 総合演習 1/21 定期試験						
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%			
	臨時試験	0%	部外評価	0%			
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%			
	課題	0%					
	演習	30%	計	100%			
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベクトルの大きさ、向きがわかる：達成</li> <li>ベクトルの内積がわかる：達成</li> <li>単純な荷電粒子分布を与えたときの電界がわかる：達成</li> <li>単純で対称性の高い電荷分布を与えたときの電界がわかる：達成</li> <li>電界と電位の関係がわかる：未達</li> </ul>						
反省点	学習の効果を随時、チェックするため、成績評価を定期試験70%、臨時試験30%から定期試験70%、演習30%に変更した。また、授業計画を変更し、電磁気学を習得するために必要な微積分に関する講義を3週にわたって実施した。後者の変更により、到達目標の一つである「電界と電位の関係がわかる」が未達となったが、電位の基礎となる電界中での仕事までは到達できたことから、未達事項に関しては電磁気学 I で取り組むこととした。						
来年度の計画	授業計画の見直しなどにより、全目標の達成を目指す。						
授業評価アンケートに対するコメント	授業内容の理解度が平均より0.1ポイント低かったことから、講義の内容をより噛み砕いて説明するよう心がけた。						
履修登録者数	70名	定期試験 受験者数	68名	合格者数	60名	合格率	88%